

中川正春の 永田町かわら版

2023/6/30 第390号

○次の選挙には、不出馬を決意

突然の不出馬宣言、皆さんには、ご心配をかけ、申し訳ありませんでした。政治家としての節目について以前から考えていました。今の任期はあと2年、任期の折り返し地点で、次の選挙には不出馬を発表することが、これから挑戦していく候補者の準備にもつながることだと判断しました。これまでご支援いただき、私をしっかり支えて頂いた皆さんには、あらためて心からの感謝の気持ちで一杯です。

今すぐにやめるわけではありません。衆議院の解散まで、もう一頑張り、最後のけじめをつけていきますので、引き続きのご支援、よろしくお願ひします。三重県は、衆議院1区、2区、4区で、新人の候補者を擁立することになります。党ではこれまで、公募という形で、広く挑戦者を募集してきました。私の2区についても、この機にあらためて募集をしました。今現在で、6人ほどが全国から手を上げています。皆、立憲民主党として戦う素晴らしい人材です。現在、それぞれの選挙区の選考委員会で選考中です。7月の初旬には、皆さんに発表したいと思っています。三重県から、新しい風を起こしていく、立憲民主党の元気を見せていきます。

○ウクライナ侵攻

今こそ、日本の平和主義を貫く覚悟を！

ロシアの非合法的な侵略に対して、ウクライナは、自国の領土を守ることに徹しています。ウクライナ軍は、ロシア領内に侵攻することに対しては、意図的に抑制しているのです。後ろにいるアメリカや欧州諸国も、軍による直接介入はしない。軍事支援も出来る限り自衛に資するものに絞り込んで注意深く実施しています。ウクライナは、「専守防衛」に徹しているのだと思います。

これが、逆に、ウクライナがロシアの国内に向けて

攻撃に転じ、全面戦争になって、それを、NATO軍が直接介入して支援すれば、どうなるか？ことは、エスカレートして、ロシアとアメリカ、欧州の全面戦争に発展し、核と長距離ミサイルを持つ軍事超大国による、全面戦争の恐れもあります。そうした前提があるから、ウクライナも自重して、専守防衛に徹するしかないのだと理解すべきだと思います。ロシアとの停戦合意に向けた道筋をどうあっても実現することが必要です。

翻って、日本国内の議論はどうか。北朝鮮のミサイル開発、中国の台湾有事の想定など、周辺情勢が緊迫してきたことを踏まえ、日本の抑止力を高めるために反撃能力（ミサイル防衛）を導入しました。日本は、専守防衛を超えて、相手国の領土に直接ミサイルを撃ち込む能力を持つこととなります。日本が、このミサイルを先んじて打つのかどうか、今国会で大論戦になりました。岸田総理は、最後まではっきりした答弁は、しなかった。しかし、相手国の領土に打ち込める能力を身に着けた限り、日本でも時の政権によるミサイル攻撃が可能となります。結果、お互いの全面戦争を誘発します。そして、アメリカが日米安保条約に基づいて日本と一緒に相手国と戦争を始めて、超大国間の戦争へとエスカレートしていく可能性は否定できません。

この議論を通して、あらためて気がついたことは、日本が相手の領土を標的とする攻撃的な武力を保有せず、平和主義に基づいて、専守防衛に徹してきたことは、大事な意味があったということです。周辺有事の際に、戦争がエスカレートしていくこと、さらに、アメリカと中国などの超大国間の直接戦争を誘発するきっかけを作ることに対する強い歯止めとなっていたということです。「日本の平和主義」の本来の意味、周辺がきな臭い状況になってきた今こそ、その原点に返って、確認する時だと思います。

○ぜひ、顔を見せてください！

恒例の国政報告会開催

国政報告会と対話集会を各地域で開催します。

やっぱり野党が一つにならなアカンやないか、というお叱りをはじめ、皆さんの声をしっかり聞かせて下さい。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

【編集元】衆議院議員中川正春事務所

E-mail:nakagawa@cronos.ocn.ne.jp

ホームページはこちらから→

三重／〒513-0801 鈴鹿市神戸7-1-5

TEL:059-381-3513/FAX:059-381-3514

東京／〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館519号室

TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

